

建設会社
トップに聞く



基礎から教えるマイホーム

絶対得する業界の常識

vol.42

企業役員用住宅建築取材VOL.5

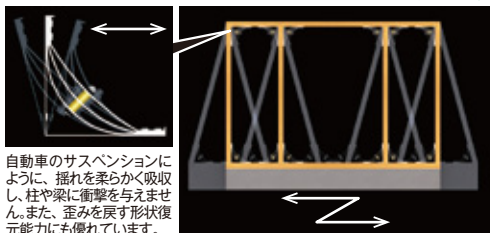
前号では特別臨時号としてマンション杭打ちデータ偽装問題に関して、湯浅社長とのインタビューを掲載し、多くの反響をいただきました。安心安全の家づくりについて、読者の皆様が大きな関心を抱えていることがあらためてわかりました。今回は、湯浅建設さんの家づくりでは欠かせない、制振装置「BOSHIN」の優れた性能について、そして、前回の建築取材の続きの断熱工事についてご説明いたします。

■実は建物の倒壊のほとんどは繰り返しの余震によるものでした。

2011年の東日本大震災では大きい揺れが繰り返り発生し、多くの建物が倒壊しました。現在の建物のほとんどは、強度を高めて作られているので、ある程度の地震には耐えることができる

坪単価 約15,000円で出来る地震対策

低予算で優れた制震性能を誇るBOSHINを紹介します



自動車のサスペンションのように、揺れを柔らかく吸収し、柱や梁に衝撃を与えません。また、歪みを戻す形状復元能力にも優れています。

- ①建物にかかる地震の衝撃力を1/2~1/3に低減させます
- ②繰り返しの大きな余震にも、初期の耐震性能を保ちます
- ③驚異の復元性を持っています
- ④施工が比較的容易です
- ⑤工事費は他の工法の1/2~1/6
- ⑥長期の耐久性に優れています
- ⑦リフォームにも適した工法です

優れた特長



かと思えます。しかし、地震に耐えた建物でも繰り返しの揺れが続くと倒壊に追い込まれるのです。

実際に、東日本大震災では、本震に耐えたが数日間に渡り起きた余震で倒壊してしまつたケースが多かつたと聞きます。



■BOSHINの持つ「復元力」

先述のとおり、傾いた建物は非常に脆い状態になっていますが、それを回避できるのが「BOSHIN」です。

「BOSHIN」は地震で傾いた建物を元の状態に戻す「復元力」があり、万が一繰り返しの大きな揺れがあつても、倒壊を防ぐ力を発揮します。

■優れたコストパフォーマンス

「BOSHIN」そのものは上図のとおり、とてもシンプルな装置。取り付けも、大きな工事などは必要ありません。さらにもともと安価なものです。しかも、将来のメンテナンスも不要ですので、以降もコストはかかりません。

取り付けも開発した「株式会社アバン設計」さんが建物の設計図を元に、どの場所に何個取り付けし、たら良いかを提案してくれまので、設計を変更することなく効率よく耐震力を得られます。

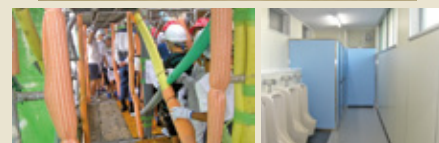
■徹底した断熱工事

次に断熱工事についてですが、前回の取材のとき

湯浅建設さんによる

今月の工事

松戸市立常盤平第三小学校
南校舎耐震及びトイレ改修工事



生徒見学会



発泡ウレタン断熱材を屋根・壁には16cm、床下(基礎)部分には8cmも吹き付けています。外気を徹底的に遮断しています。

ご紹介したとおり、外気にさらわれない環境を作り出すための工事を行っております。

従来断熱工事といえば、グラスウールやポリエステル材のものを、手作業で壁や床下に敷き詰めるケースが多いのですが、この工法ですと、職人の腕によつては隙間が出来たり、また、それを固定するためのホチキスが数十年後に劣化し、壁の中で断熱材がずれたりしてその効果は決して万全というわけではありません。

今回の断熱工事は、「発泡ウレタン断熱剤」を吹き付ける工法で、この工法では従来の断熱材の工法のデメリットがすべて解決でき、完璧な断熱工法と言えます。

これまで4度の建築取材を行っておりますが、そのすべてに「BOSHIN」を設置しております。安心安全にこだわる湯浅建設さんが、絶対の信頼を寄せる装置です。新築時はもちろん、リフォーム時でも取り付け可能ですので、ぜひご検討いただければと思います。

【取材協力】株式会社湯浅建設 湯浅健司社長

完全注文住宅建築事例



地域に根差した総合建設業を目指して創業60年

一貫誠実



株式会社湯浅建設

千葉県知事 登録 第1-1203-7620号 / 千葉県知事許可(特-22)第1298号

湯浅建設

検索

月刊ハロー！取材記事のバックナンバーも掲載中！

お見積もり無料！

お気軽にお問い合わせ下さい！

TEL.047-387-2281 (代表)

〒270-2253 千葉県松戸市日暮5-25

http://www.yuasakensetu.co.jp/



リフォーム事例



Before

After

CONSTRUCTION